

北陸麦サロン
～北陸麦豆ホップステップその先へ…！～
概要（質疑応答・意見交換）

令和7年1月29日開催

北陸農政局
生産部生産振興課

生産者に対する質疑応答

【大麦生産者】 有限会社あさひ 高川氏（石川県白山市）

- 年によって単収の差はあるのか？
→過去3年は単収500kg/10aを超えており、差はそれほどない。
- 水稻品種の決め方、大豆との具体的なローテーションの流れについて。
→計画作成時、大麦を作付けするほ場を決めた後にそれを踏まえて水稻品種を決定。水稻早生品種の刈取りと麦の播種との間は1か月以上空くため作業に影響しない。大豆を作付けした翌年は水稻の早生品種を作付け。
- 額縁明渠の深さは何cmで施工しているか？
→ほ場にもよるが、基本は機械の最大深度の25cmを目標としている。

【小麦生産者】 農事組合法人第四生産組合 竹野氏（新潟県弥彦村）

- 播種時のほ場の状態について、耕耘、砕土をどう行っているか？
→耕耘後、ほ場が乾いてからロータリ付き播種機で播種を実施。砕土率が良くないと発芽不良が出るため速度はかなり遅め。
- 降雨により播種時期は遅れるのか？
→大豆収穫後に小麦を播種する。作業自体は1週間で終わるが、R6は降雨が多く、播種が遅れた（最後の播種は11月初旬）。ほ場が乾かないまま播種を行ったことにより、発芽不良となったため、R7は減収の見込み。

実需者に対する質疑応答

【大麦実需者】株式会社新潟小規模蒸溜所 堂田氏

- ウイスキー醸造を行う実需として求める品質（発芽率、粒大等）とは？
→ 麦芽は発芽勢が重要。求める条件は発芽率90%以上。粒が小さいと外皮が多くなるため、より多くのアルコール収量を得るには粒大が大きいことが必要。また、成分として高デンプン、低タンパクであることが重要。
- ウイスキーにおける二条と六条の製品特性、味や風味の違いは生じるのか？
→ ゆきはな六条で醸造したウイスキーは柔らかく独特の香り、和のテイストが感じられる。香りの多様性はウイスキーにとって一番重要。

【小麦実需者】株式会社セブン-イレブン・ジャパン 和田氏

- 信州産小麦の使用実績が、2013年から直近2024年までの10年間で伸びた要因は何か？
→ この10年間の伸長の主たる要因はうどん。継続した商品化と売筋・定番商品の育成と安定的な調達・使用が上手にマッチングした。今後はパン類にも力を振り向けていきたいと考える。
- セブンイレブンの店舗でテスト販売をする際に最低限必要なロットの目安はあるか？また、こうした商談をさせていただく際の連絡はどちらになるのか？
→ ロットは商品によってケースバイケースなので一概には言えない。テスト販売の相談があれば地区MD統括部に問い合わせさせていただきたい。

意見交換

(1) 今後の麦の需要の見通し、求める品質について (大麦)

【大麦実需者】株式会社新潟小規模蒸溜所 堂田氏

- ・ 新二条大麦品種「こはく雪」を生産拡大するために生産者と連携をとっていききたい。

【大麦製粉実需者】株式会社はくばく

- ・ 令和6年度の精麦の市場規模は、令和5年度の120%程度で好調。加えて近年の米価格高騰や健康需要も影響。
- ・ 外国産から国産への切り替えの動きもあり、需要に応えるため産地には増産を求めている。
- ・ 引き続き生産量の維持、拡大をお願いしたい。

【大麦実需者団体】全国精麦工業協同組合連合会

- ・ 令和の米不足もあり、令和6年度主食用精麦生産量は令和5年度の115%と伸びている。
- ・ 約10年前より需要が高まるもち性大麦も国産への切り替えが進み、需要が回復。
- ・ 二条大麦も以前はほとんど海外産であったが、現在は国産との比率が半分。
- ・ 六条大麦も二条大麦も国産の使用が増えているため、引き続き、原料の安定供給をお願いしたい。

【大麦実需者団体】全国麦茶工業協同組合

- ・ ペットボトル飲料、家庭用ティーパックともに麦茶需要は堅調に伸びている。
- ・ 原料は六条大麦を年間2万トン使用しているが、希望量にはあと1万トン程度不足。
- ・ 六条大麦の5割以上は北陸で生産されており、非常に重要な産地。引き続き安定生産をお願いしたい。

(2) 今後の麦の需要の見通し、求める品質について (小麦)

【小麦実需者】 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 和田氏

- 販売量が多いのは麺類、パン。特にうどんは国産化が進んでいる。全国的にはパン用に取り組んでいきたい。
- 北陸エリアは地元調達ができているので将来的に調達できればと考える。
- 工場で製造しているため、できるだけ品質が安定することを望む。
- 持続可能な原材料の調達の取り組みを行っており、農産物に関してはGAP認証の取得を1つの基準としているため、安心安全の観点から認証があるとありがたい。

【小麦製粉実需者】 丸栄製粉株式会社

- 県産小麦としては、ゆきちから、夏黄金を使用し、製粉している。
- 新しい小麦生産者には薄力品種のゆきはるかをお願いしたい。
- 求める品質としては、当社で受け入れる小麦（ゆきちから、夏黄金）として、毎年タンパク基準12.5%をお願いしている。

意見交換

(3) 北陸地域における麦の安定生産について

【大麦生産者】 有限会社あさひ 高川氏

- できるだけ水はけのよいほ場を選択。麦前の水稲は早生品種を選択し、ほ場を乾かしたあとに麦を播けるように取り組む。

【試験研究機関】 農研機構中日本農業研究センター 島崎氏

○2年3作体系水田を利用した麦作において栽培中に留意すべき点について

- 作物の切り替え時間が短いため、適地作業ができるような工夫が必要。品種の選び方や排水対策の時間の確保が重要。

○気候変動による影響について

- 気候変動について、秋から冬の温暖化により、基肥一発肥料を使用している場合、肥料の溶出が秋のうちに進んでしまい、分けつ数、穂数は増えてしまう。よって春先に残る肥料の養分が少なくなってしまう、細麦化しやすいことが課題。
- 温暖な年は春先に追肥を行うことで、年次変動が少ない栽培が可能。
- 以前の北陸地域では、小麦の収穫が梅雨に重なるため収穫に悪影響があったが、近年は梅雨入りが遅い年が多く、比較的広い地域での栽培が可能となった。品種も以前と比べて早生品種が増えたので栽培しやすくなった。

【試験研究機関】 農研機構中日本農業研究センター 長嶺氏

○こはく雪の品種特性について

- 出穂・成熟はファイバースノウと同じ。ミノリムギより早い。

まとめ

サロンで分かったこと

1. 安定した「品質」と「量」の確保するために、水稻早生品種の選択による排水対策時間の確保、春先の追肥などの適期作業の実施が重要。
2. 地域活性化に向け地産地消を促進し、生産～流通～消費を地域内で完結させる経済循環の取組が必要。
3. 国産大麦の生産拡大を推進するため、北陸産大麦を活用したウイスキーを醸造し、国内外の販売に取組むなど新たな需要の創出が必要。
4. 実需側と生産側の連携を通じて、互いに求められるニーズを把握し、北陸産麦の生産拡大を進めていくことが必要。

安定生産のポイント

1. 排水対策と適期作業（播種、雑草防除、施肥、収穫、赤かび防除等）が重要。
2. 水田を利用した麦作では、水稻の早生品種を選択するなど排水対策の時間を確保。
3. 温暖化の影響を緩和するため、春先の追肥など作業の工夫を行う。

需要の見通し

1. 外国産から国産への切り替えが進むなど、北陸産麦の需要が前年より伸びている。
2. 引き続き安定した品質の維持と生産量の拡大が求められている。